

再エネ・省エネ設備の普及を図る 建設・建築業者・工務店との連携強化



福知山市では、エネルギーの地産地消を進めるため、太陽光発電などの再エネ・省エネ施設の普及を図る建設・建築事業者・工務店等との提携により、持続可能で豊かな暮らしを推進します。



毎年200戸の設置で、毎年1メガワットが市内に誕生！

工務店等が建物を新築・改築する施主への太陽光発電設備導入を呼びかけることで、毎年メガソーラーに相当する再エネ電力が市内に誕生します。

ソーラー設置目標：年間200戸 1メガワット (1戸あたり5キロワットを想定)
現状：年間130戸 0.65メガワット ※年間新築住宅着工数230戸(2017年)

将来、卒FIT電力になったら、地域新電力との提携により、地域を支える電力にもなります

●命と健康を守るための断熱

家の断熱がしっかりできていないと、室温を維持するために、多大なエネルギーを使い、特に猛暑などの異常気象が続く昨今では、冷暖房費が高くつくだけでなく、更なる地球温暖化にもつながり悪循環です。

また、風邪や結露によるカビなどで健康を損なうことも多くなり、特に1月は、浴室やトイレでのヒートショック(室温差による血圧の急激な上下動)による死亡事故が多く発生するので要注意です。

命を守るためにも、また、エネルギーの自給自足を進めるためにも、断熱はしっかりしておきましょう。

全国のヒートショックによる死亡者数は年間17,000人以上！

実は交通事故死亡者数の約4倍！

(地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 2011年調査より)

省エネとは、寒さや暑さを“ガマン”することではなく、人も地球も“快適”にすることです

防ごう！ ヒートショック 熱中症

福知山市は、地球温暖化防止に向けた国民運動 COOL CHOICE に賛同し、持続可能なまちづくりをめざします。

環境・経済・社会
好循環のまち 福知山

建築・リフォームをお考えの方は、ぜひ、市内の建設・建築業者・工務店にご相談ください